



安中市は景観行政団体になりました

安中市 建設部 都市整備課

平成31年4月1日より安中市は景観行政団体になり、景観まちづくりに向けた取り組みをおこないます。

■目的

安中市は、群馬県の西部に位置し、市内西部に碓氷峠、南部に妙義山を有し、中央部には碓氷川及び九十九川が東西に流れるなど、豊かな自然に恵まれています。碓氷峠は日本書紀に碓日坂^{うすひのさか}として詠まれるほど歴史が古く、めがね橋として知られる碓氷第三橋梁をはじめとする旧碓氷峠鉄道施設は国指定重要文化財となっています。また、見る場所によって形を変える妙義山は日本三大奇景の一つとされ、風光明媚な景色が広がっています。その他にも、江戸時代には板鼻・安中・松井田・坂本と、中山道の4つの宿場町が整備され、碓氷関所が設けられるなど、交通路が集中する要衝の地であり、古くから街道のまちとして栄えてきました。また、安中藩の城下町としても知られており、多くの歴史・文化が継承されています。これらの特色ある景観資源の保全と活用、さらには新たな景観形成を推進し、地域の魅力を向上させるべく、安中市景観計画及び安中市景観条例を策定します。

■景観まちづくりの推進

安中市の景観計画と景観条例は、市民・事業者・行政が景観まちづくりに一緒に取り組むための共通の指針となります。地域が主体となって景観資源を発掘し磨くことを契機として、豊かな生活空間が創られることを目指します。また、景観まちづくりの効果として、交流の促進による観光客、来訪者や宿泊客の増加、生活環境の魅力向上による市民の地域への愛着・満足度アップ、景観資源を活かした商品開発、ブランド化も挙げられます。

■景観計画策定にむけて

第2次安中市総合計画で掲げたまちの将来像「みんな元気でいきいき暮らせる市民総働のまちあんなか」や、都市計画マスタープランで定めた都市整備分野の共通目標である「豊かな自然と歴史に包まれて穏やかな暮らしが営まれ、いきいきとした交流が育まれるまちあんなか」を目指すなど、上位計画や関連計画との整合・調和を図りながら策定を進めます。

本年度の取り組みとしては、地区別懇談会や景観勉強会の開催、郵送やWEBによるアンケートを実施するなど、住民の考えを伺いながら景観形成に向けた基本方針を定めていきます。



妙義山と田園風景



碓氷関所跡



碓氷峠鉄道文化むら



旧安中藩郡奉行役宅